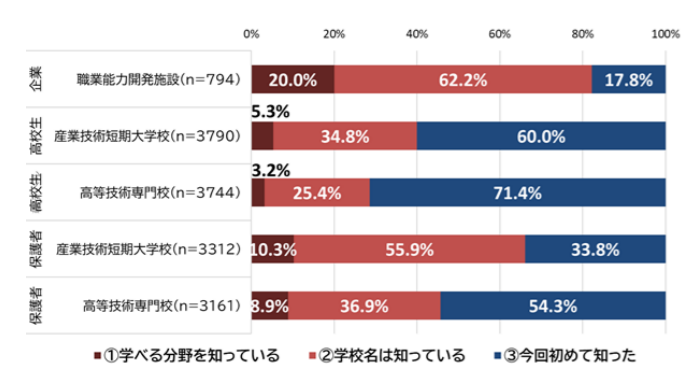


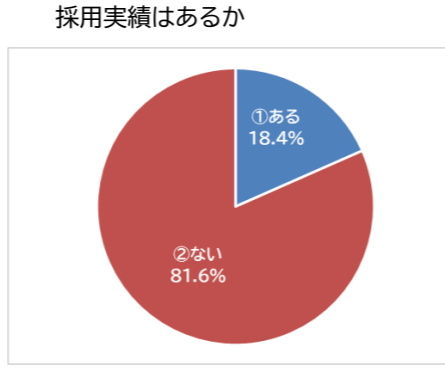
事業所 調査結果 ①

【概要】 県内事業所に職業能力開発に関する調査及び北いわての産業を担う人材の育成に向け二戸高等技術専門学校に関するニーズ調査を行ったもの。
【調査対象先】 県内に所在する約 25,000 事業所から、所在地、業種、従業員規模の各属性によって、偏りのない対象 2,500 事業所に発送「回答数 832 事業所」

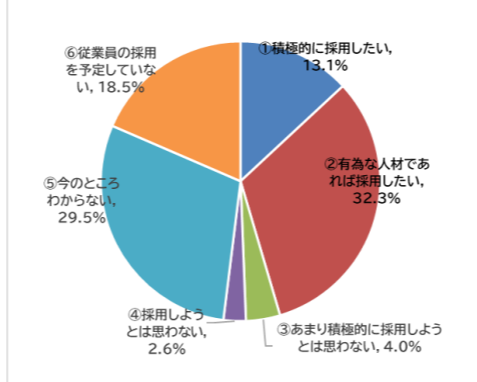
Q1 職業能力開発施設を知っているか(再掲:高校生保護者 Q10)



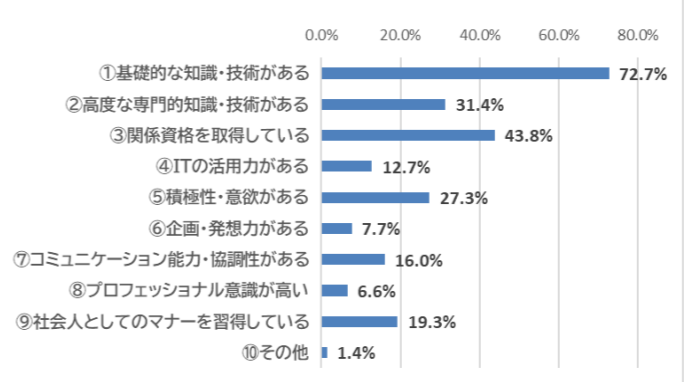
Q2 職業能力開発施設の修了生の採用実績はあるか



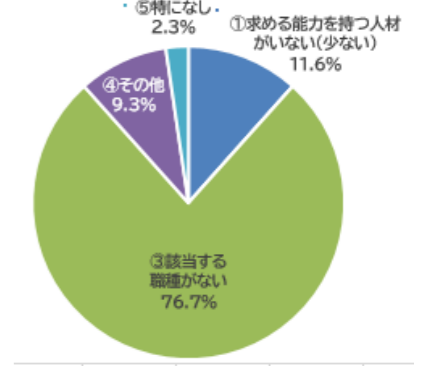
Q3 職業能力開発施設の修了生の採用をしたいか



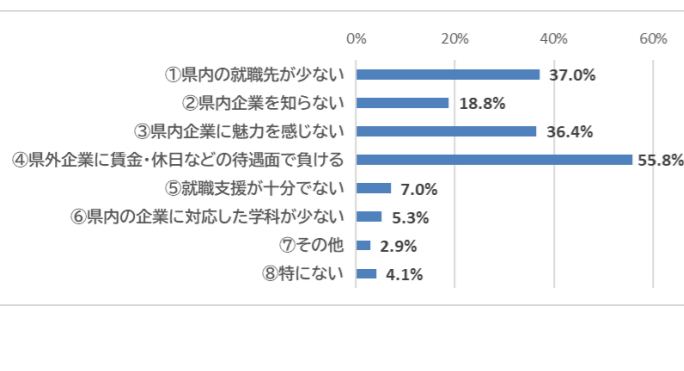
Q3-1 Q3で①又は②と回答した場合、その理由



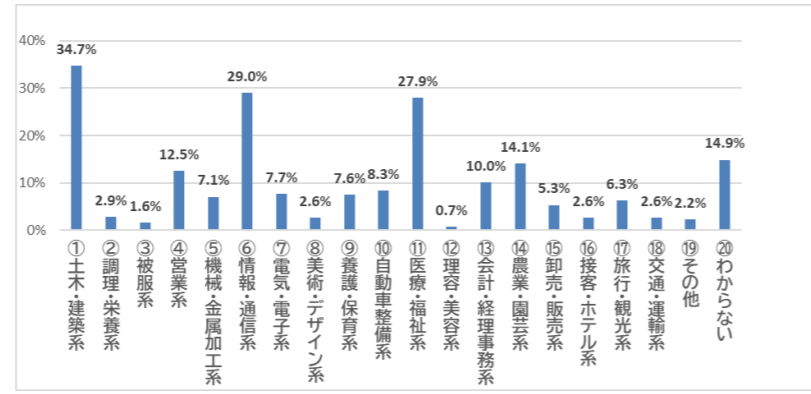
Q3-2 Q3で③又は④と回答した場合、その理由



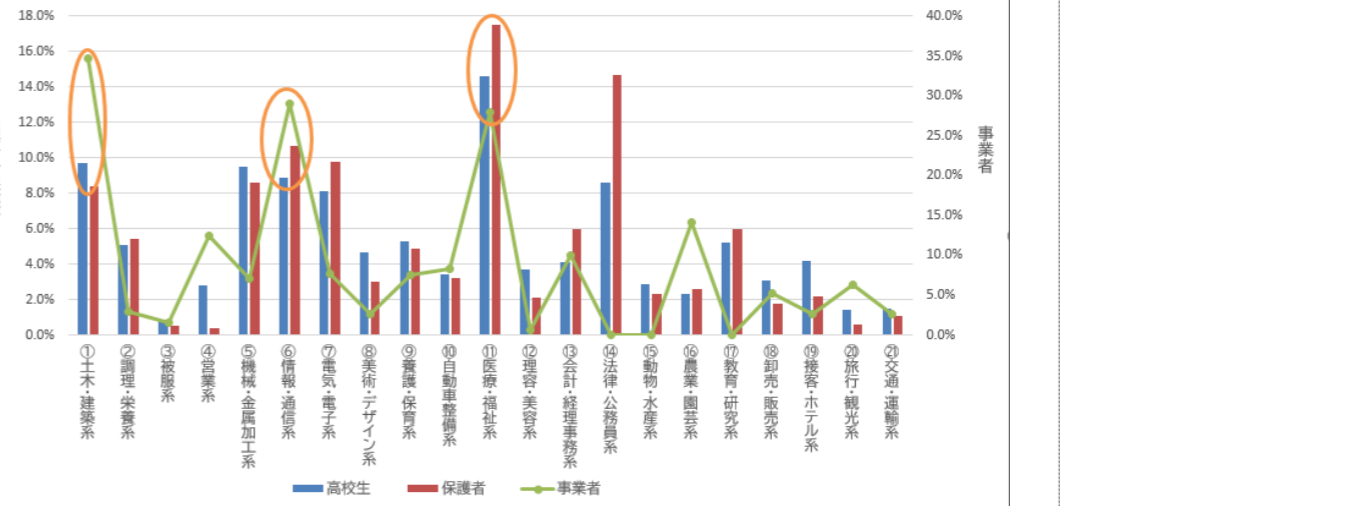
Q4 県内就職率が60%前後にとどまっている要因



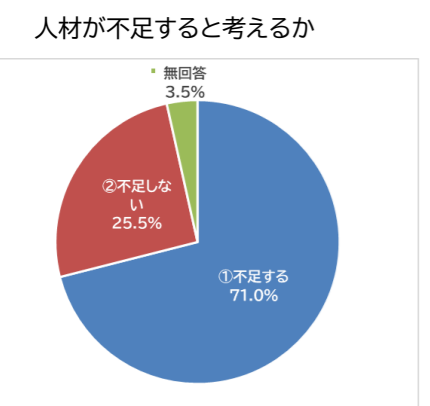
Q5 職業能力開発施設において拡充又は新設すべきコースは



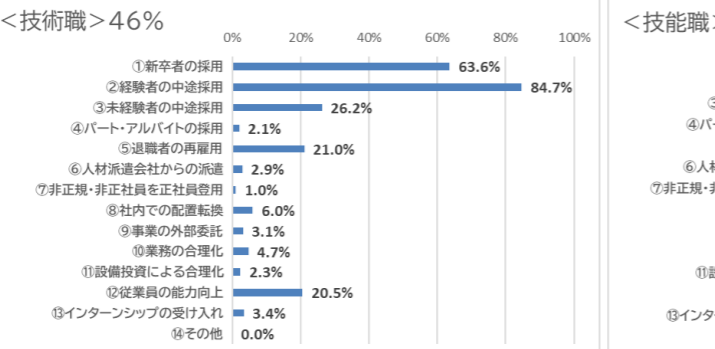
高校生が進みたい分野と事業者が育成を必要とする分野の比較



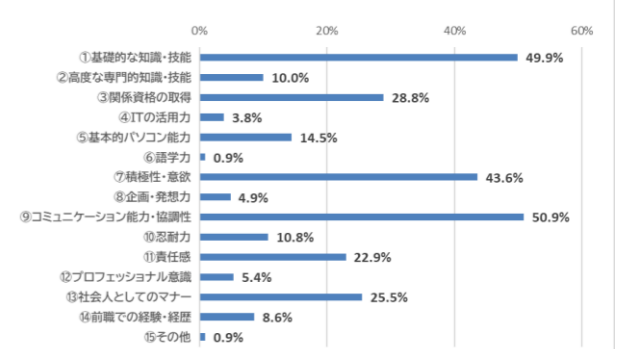
Q6 貴社では、現在又は近い将来、人材が不足すると考えるか



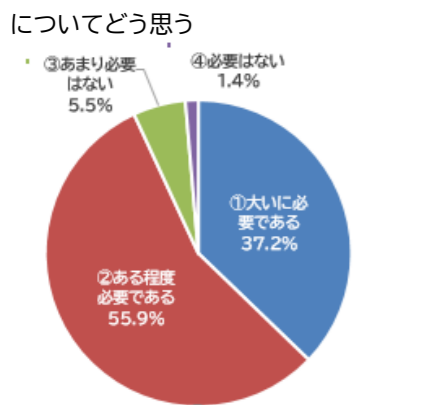
Q7 現在又は将来不足すると考えている人材の職種とその解消方法



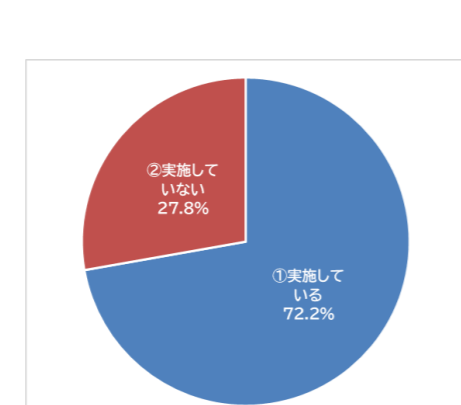
Q8 採用する人材に求める能力は



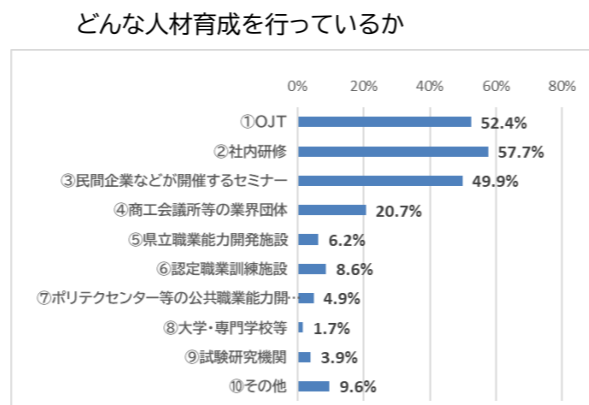
Q9 従業員への訓練や研修等の人材育成についてどう思う



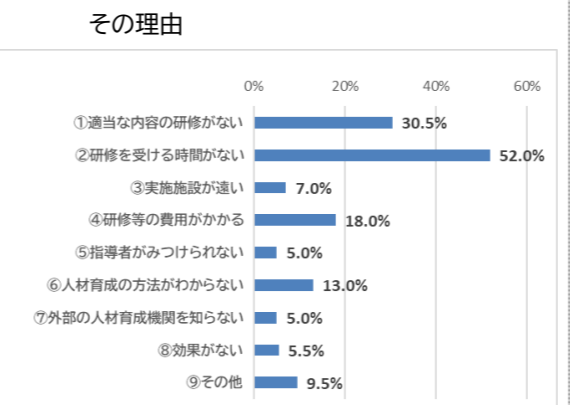
Q10 従業員に対する人材育成をしているか



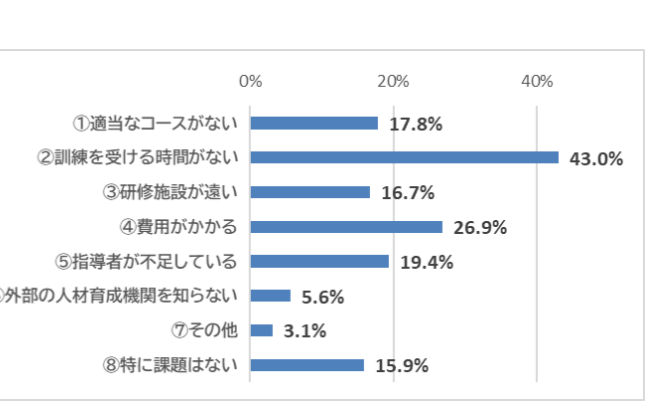
Q10-1 Q10で実施している場合、どんな人材育成を行っているか



Q10-2 Q10で実施していない場合、その理由

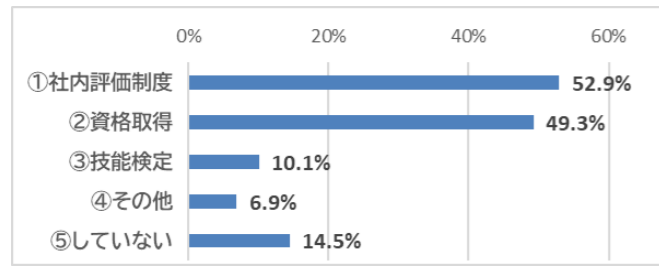


Q11 人材育成を促進するための課題は

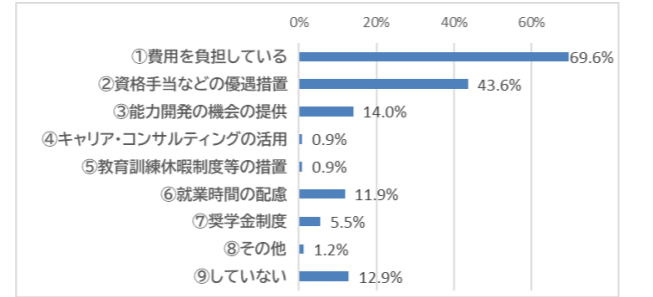


事業所 調査結果 ②

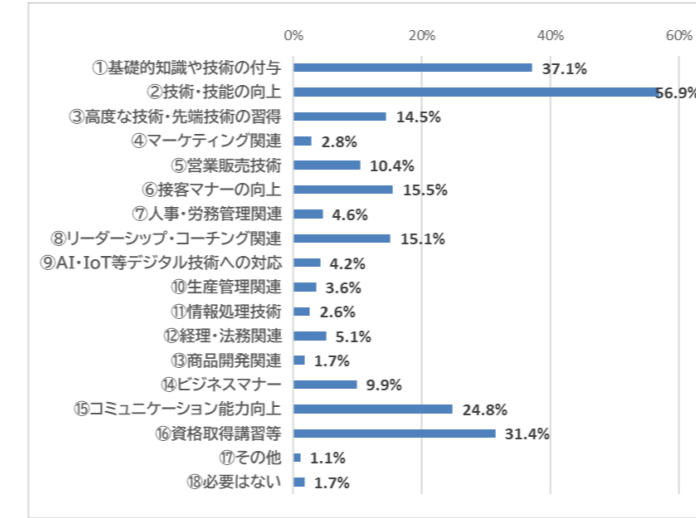
Q12 貴社では、従業員の職務上の能力をどのような方法で評価しているか



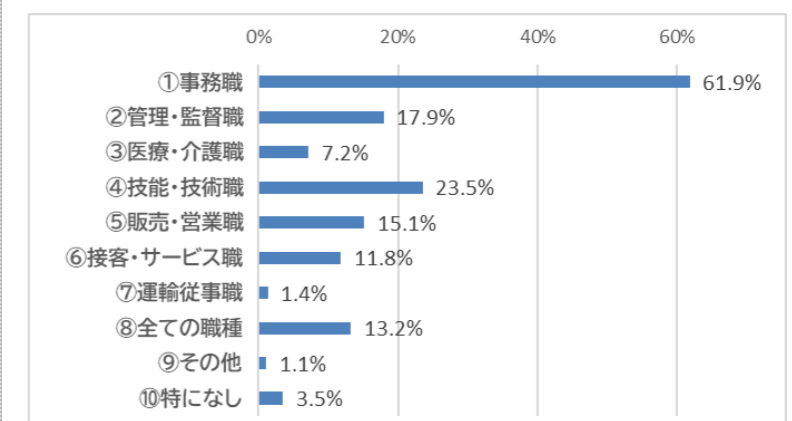
Q13 従業員が職務上の能力開発を行うことに対して貴社として支援を行っているか



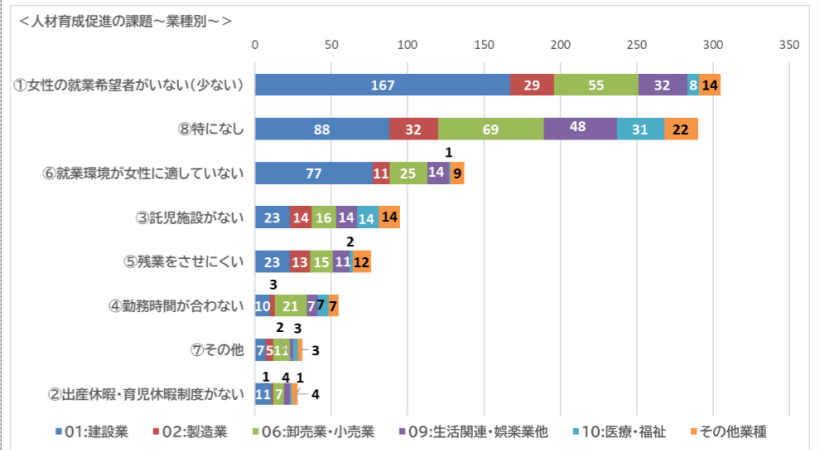
Q14 貴社において、従業員研修として、必要なものは



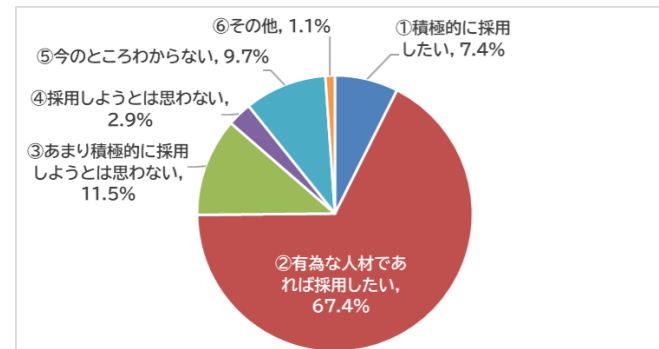
Q15 貴社の業務の中で、どのような職種で女性の活躍を期待するか



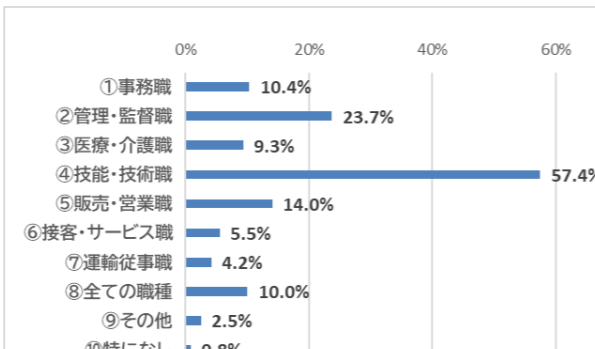
Q16 貴社において、女性が活躍するためにどのような課題があるか



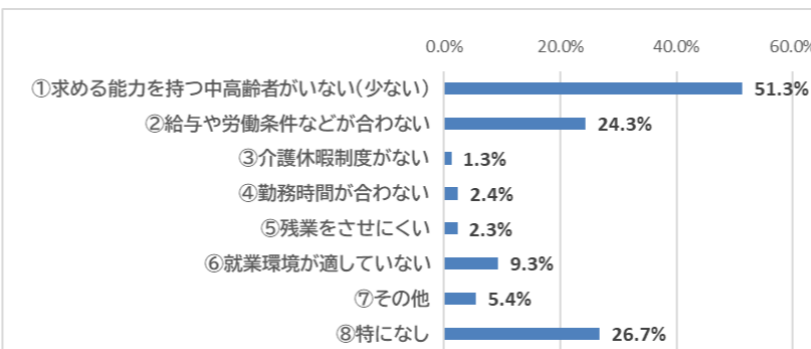
Q18 貴社において、中高齢者の採用について、どう考えるか



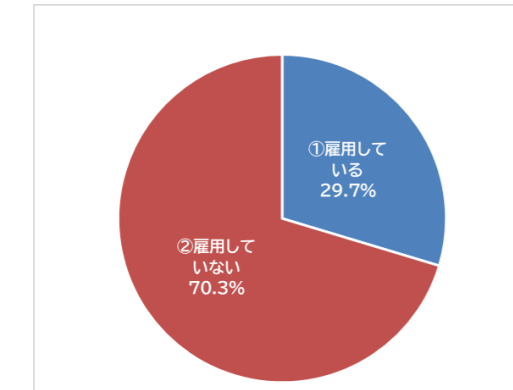
Q19 Q18で①又は②と回答した場合、どの職種で中高齢者の活躍を期待するか



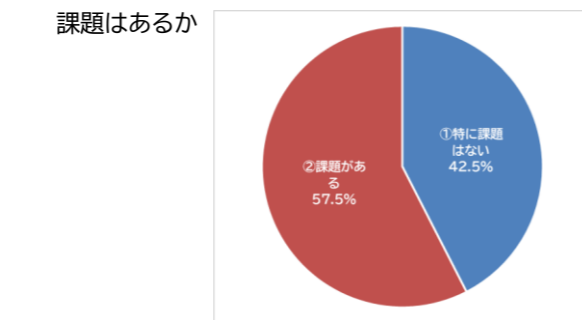
Q20 貴社の業務の中で、中高齢者の採用についてどのような課題があるか



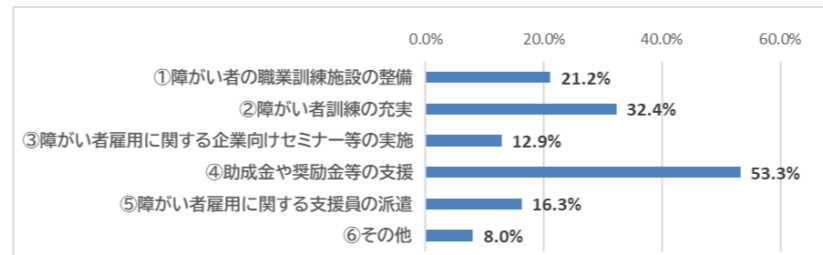
Q21 貴社において障がい者を雇用しているか



Q22 障がい者の雇用を続けていく、もしくは障がい者の雇用を検討するための課題はあるか



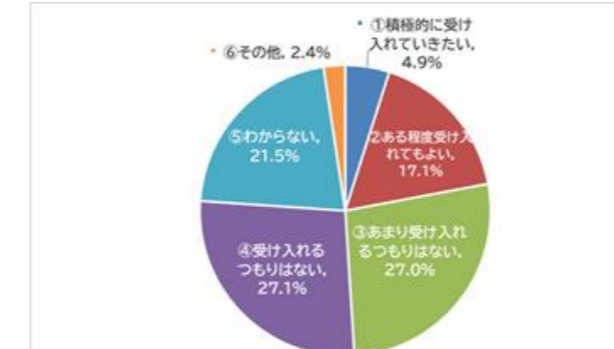
Q23 障がい者の雇用を促進するために行政に希望することは



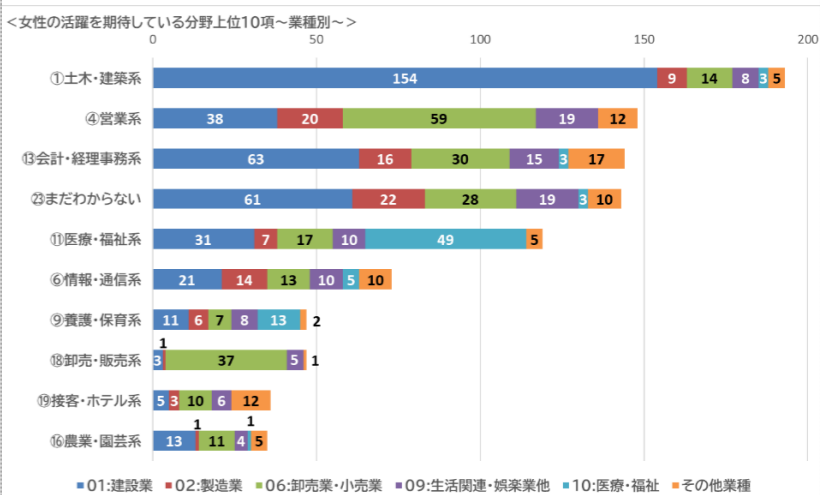
Q24 外国人技能実習生を受け入れることについてどう考えるか



Q25 新たな在留資格である「特定技能」のある外国人を受け入れることについてどう考えるか

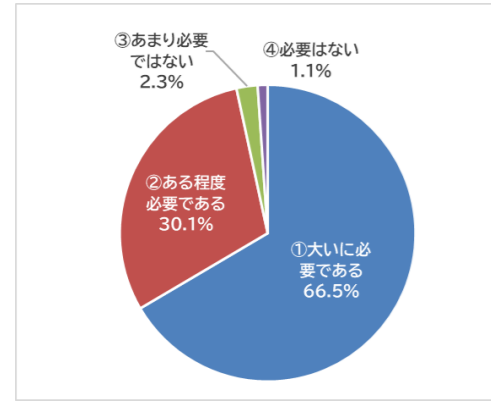


Q17 今後女性の活躍を期待しているのはどのような分野か

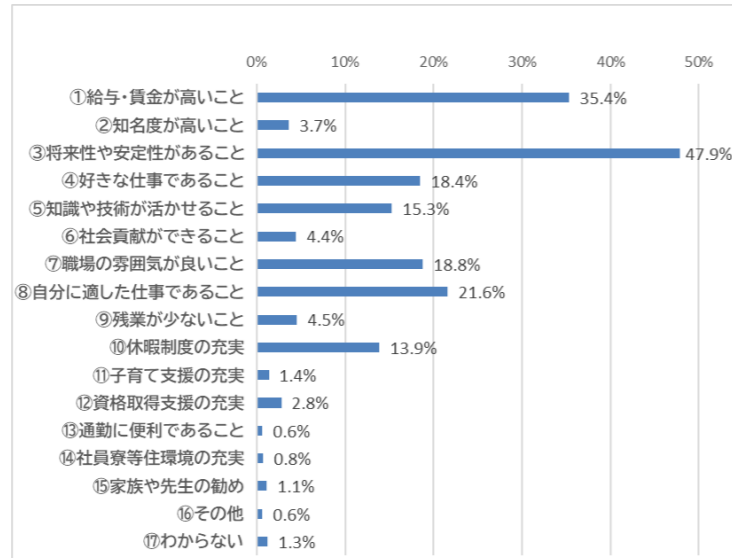


事業所 調査結果 ③

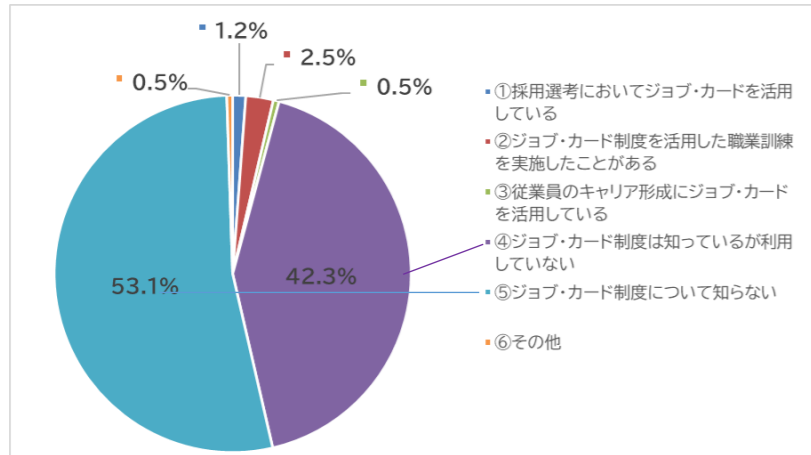
Q26 今後、若年者の人材は必要か



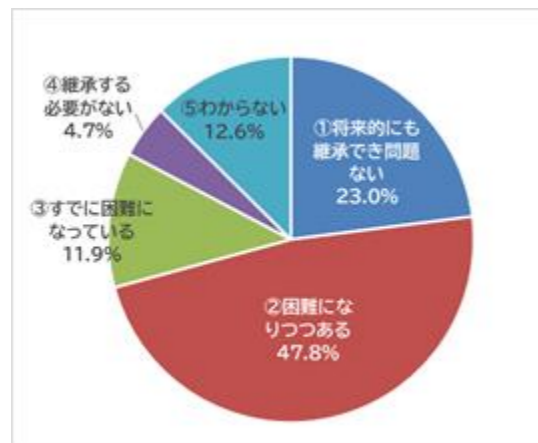
Q27. Q26で①又は②と回答いただいた場合、若年者の人材確保のために何が必要か



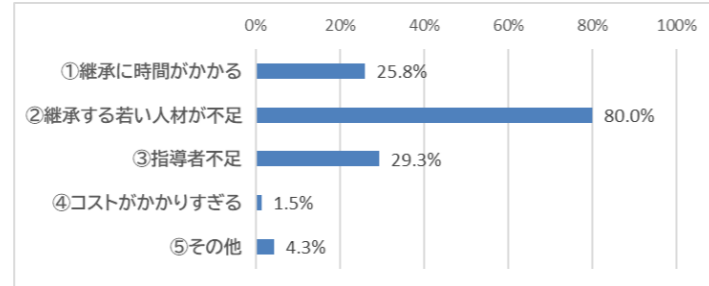
Q32 ジョブ・カード制度の普及を推進しているが、貴社ではジョブ・カード制度を活用しているか



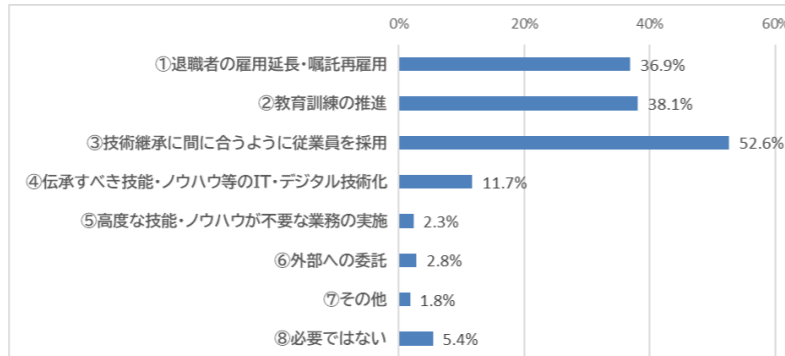
Q33 技能や技術の継承(後継者の育成)はできているか



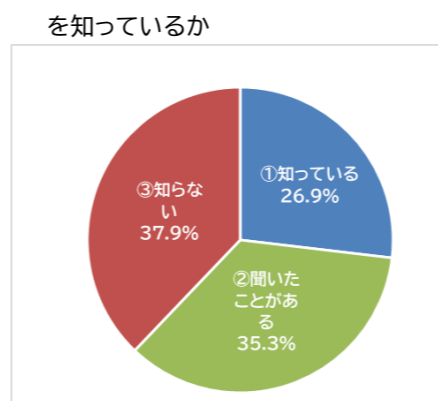
Q34 Q33で②又は③と回答した方、その原因は何だと思いますか



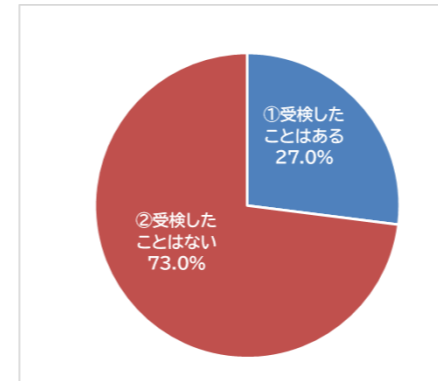
Q35 技能や技術の継承方法としてどのような取り組みが必要か



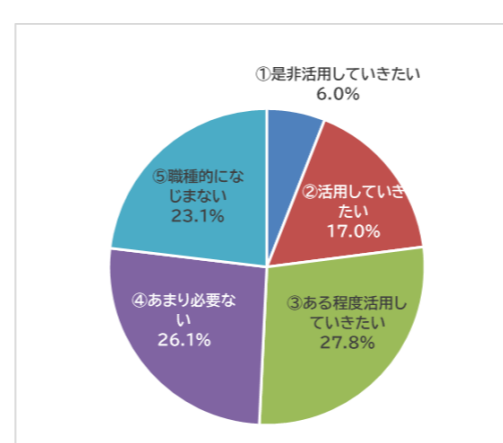
Q28. 厚生労働省所管の技能検定制度



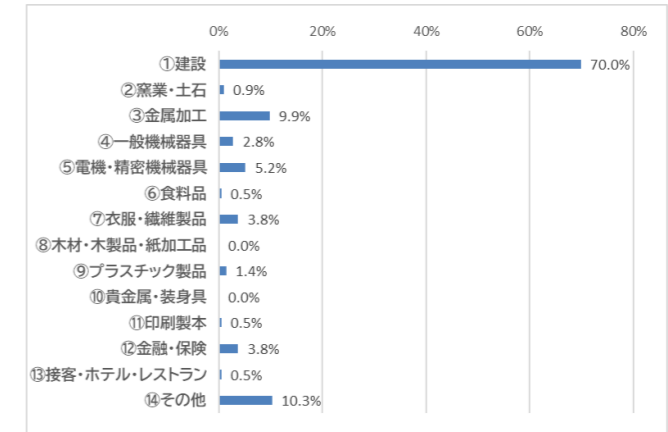
Q29 貴社の従業員は、技能検定を受検しているか



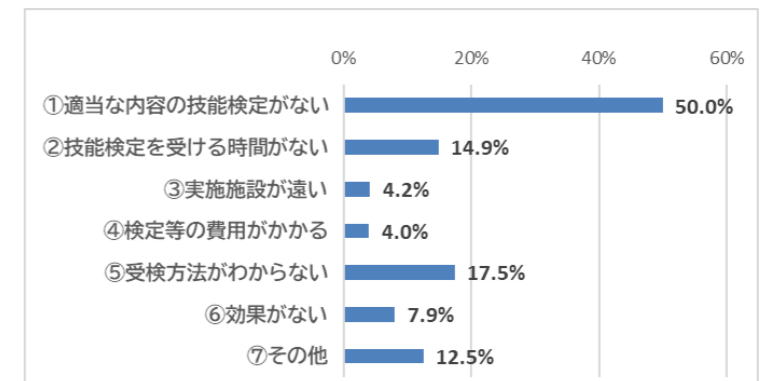
Q30. 技能検定制度をもっと活用していきたいか



Q29-1 ①と回答した場合、どのような業種で受検したか



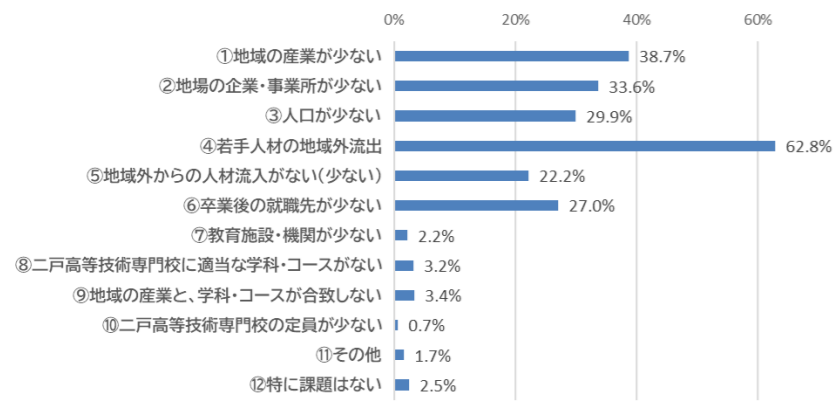
Q29-2 ②と回答いただいた場合、受検したことがない理由は



Q31 貴社において、従業員にどのような技能検定や資格等の取得を奨励しているか
奨励している主な技能検定や資格等の名称、貴社にとってのメリットは
(資料7 事業所用 P149~163 参照)

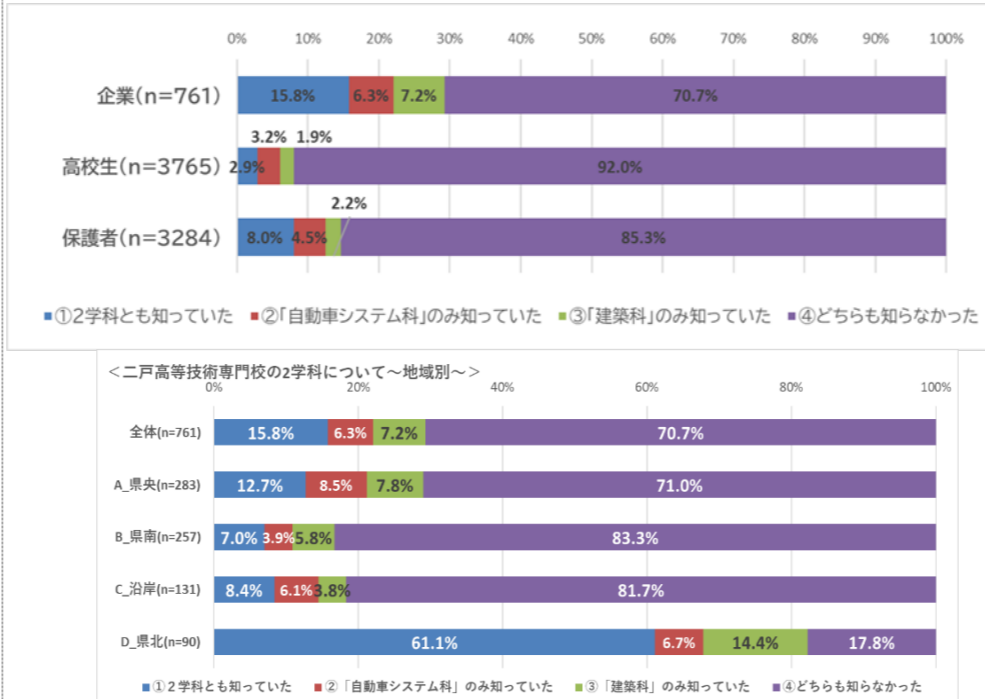
事業所 調査結果 ④

Q36 県北地域の産業振興及び人材育成の課題



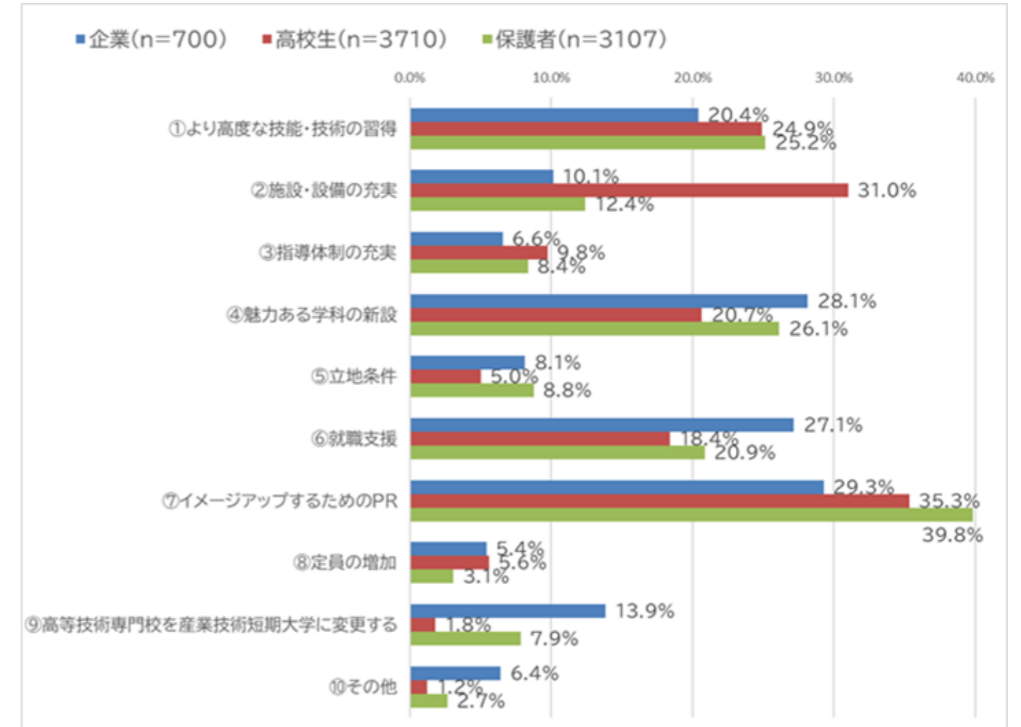
Q37 二戸高等技術専門校を知っているか(再掲:高校生保護者 Q14)

(事業所)(高校生)(保護者)



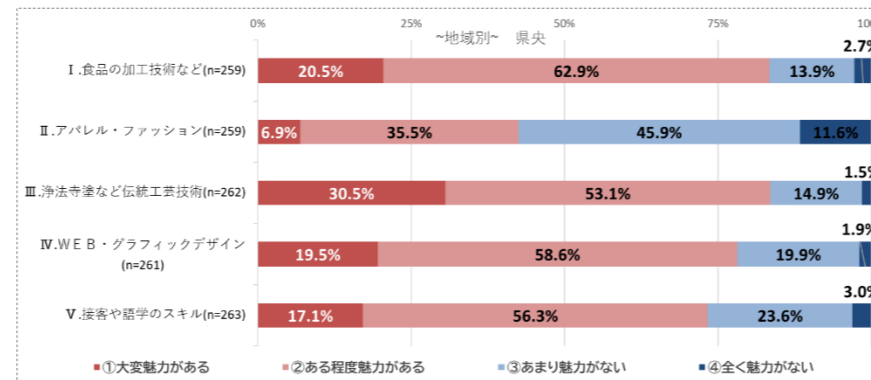
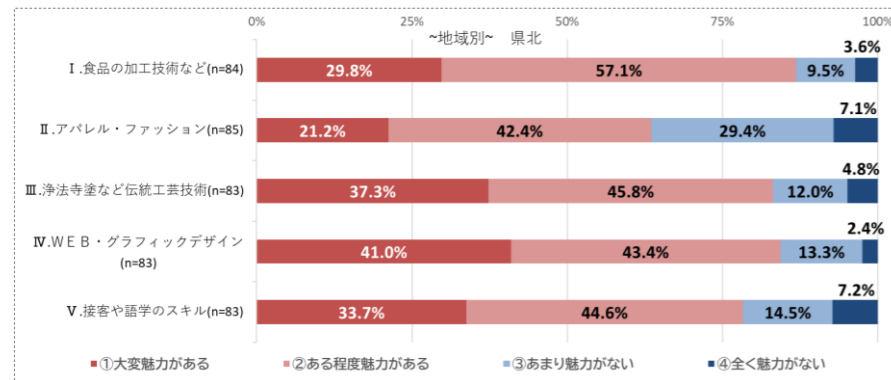
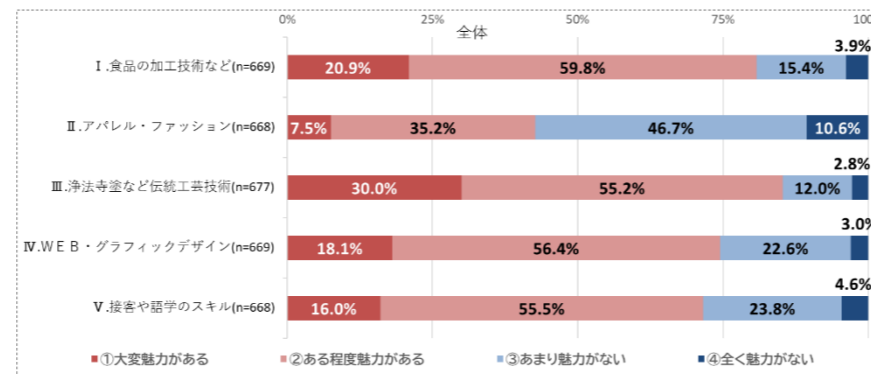
Q38 魅力的な二戸高等技術専門校にするために必要なこと(再掲:高校生保護者 Q15)

(事業所)(高校生)(保護者)



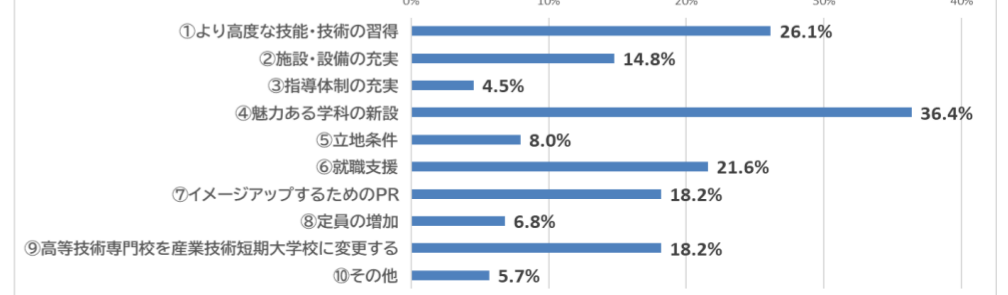
Q39 二戸校において県北地域の特色ある産業の技術や知識を習得するために、以下のコースを新設する場合、産業技術人材の育成として魅力を感じるか。

- I 食品の加工技術や商品開発、ブランディングを学べるコース
- II アパレルやファッションデザイン、そのブランディングを学べるコース
- III 浄法寺塗など地域資源を活かした伝統工芸技術やそのPR手法を学べるコース
- IV WEB・グラフィックデザインを通じた産業デザインや、商品開発などの手法を学べるコース
- V 接客や語学のスキルを向上させ、地域観光やサービスのPR手法を学べるコース



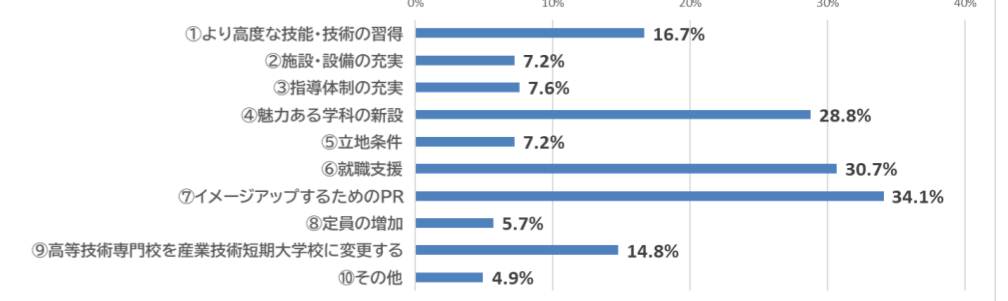
<二戸高等技術専門校を魅力的にするために必要なもの～地域別～>

■D_県北(n=88)



<二戸高等技術専門校を魅力的にするために必要なもの～地域別～>

■A_県央(n=264)



【(北いわて産業技術人材育成に関する)アンケート結果・分析】

事業所における職業能力開発施設の学生の採用実績は約18%であり、積極的に採用又は有為な人材であれば採用するが約45%(わからないが約30%)となっており、一定の採用ニーズがある。採用する理由としては**基礎的な知識・技術がある、関係資格を取得している、高度な専門的知識・技術がある**、と続く。既存学科の拡充又は新設ニーズは、**土木・建築系、情報・通信系、医療・福祉系**と続く。二戸校の魅力化に関しては、**イメージアップPR、魅力ある学科の新設**が高いが、県北の事業所では、**魅力ある学科の新設、高度な技能・技術の習得**が高い。コース新設については、**Ⅲ伝統工芸、Ⅰ食品、Ⅳ産業デザイン**と続く。高校生からの支持が(特に女性支持)が多かった**Ⅱアパレル**については、事業所全体からの支持は約43%であるが、県北の事業所では約63%は魅力があるとしている。学科の新設は、高校生が興味を持つ分野であることが最重要であるが、採用意欲が旺盛な県内事業所の業種や分野に関連していることも学生の地元定着を進めるうえでポイントになる。